

平成 24 年度事業計画書

自：平成 24 年 4 月 1 日 至：平成 25 年 3 月 31 日

1. 全般

- (1) 本学会の運営の基本方針として次の項目に示す活動を推進する。
 - ① 世界をリードする実装技術の牽引役としての活動を目指す。
 - ② 幅広い実装技術領域をカバーしている本学会の存在意義をアピールする活動を目指す。
 - ③ 将来を担う若い技術者が魅力を感じ活動できる開かれた学会運営を目指す。
- (2) 「非営利型一般社団法人」への移行の認可を受け、平成24年4月1日から新法人に移行した。新法人に適合する組織体制を構築するとともに、継続的かつ安定的な運営ができるように積極的な取組みを推進する。そのために常任理事の担当範囲を今まで以上に明確にして業務を遂行する。
- (3) 学会活動の活性化を図るために、会員増強活動を引き続き展開するとともに、会員主体の学会活動をより推進するために、学会運営の公平性と透明性を強化する。
- (4) 技術調査事業については、引き続き、学会の基盤活動である技術委員会および研究会の活動を強化・活性化する。新規テーマや横断テーマを生み出す研究会活動を活発化するとともに、技術委員会および研究会の運営についても、自立化かつ健全化を推進する。
- (5) 大会事業活動については、春季講演大会、秋季大会マイクロエレクトロニクスシンポジウム、国際会議ICEP、ワークショップを企画・運営する。これらのイベントへの参加者および発表者の増加を図るため、新分野のセッション企画などを強化するとともに、収支改善のため運営の合理化を進める。
- (6) 展示事業活動については、JPCAShow/マイクロエレクトロニクスショー/JISSO PROTECの3展示会の活性化と来客数の増加を図るため、併催の学会イベントを統合して運営するとともに、新規にポスタ展示のエクステック2012を設ける。また半導体関連分野の企業との連携を強化するため、セミコン・ジャパンにおいて学会活動紹介展示と特別セミナーの開催を行う。
- (7) 教育事業活動については、教育講座2件、実装セミナー2件に加え、新たに若手会員のニーズに応えられるよう演習などを加えた新教育講座を開催する。
- (8) 会誌発行事業活動については、例年通り学会誌を7回、英文論文誌を1回発行するとともに、会員の利便性向上と会誌発行費用の削減を図るため、電子ジャーナル化を進める。
- (9) 国際事業活動については、国際会議ICEPを機軸に、IEEE、IMAPSとの国際交流活動を引き続き継続する。また、IMAPSのAffiliate会員登録サービスも継続する。
- (10) 支部事業活動については、関西支部で若手研究者セミナー、技術講演会、関西ワークショップを開催するとともに、九州支部は自主イベントを開催し、地域活動の活性化を図る。
- (11) 表彰事業活動については、学会活動の活性化を目的に、学会活動に功績のあった方および学術的・技術的に貢献があった方に学会賞、功績賞、技術賞、論文賞、技術功労賞を贈呈する。また、各種イベント（春季講演大会、秋季大会MES、ICEP国際会議）の優秀発表者を表彰する。

2. 学会運営体制

- (1) 新法人運営に向けた体制・規程類の整理
新法人体制の学会活動の活性化、事務局運営の効率化を目的に規程・内規類の改定を進める。
- (2) 財務体質の安定化
永続的に学会が運営できる財務基盤の確立を目指し、費用の見直しと収益の改善に、より一層の努力をする。
- (3) 会員数の増強
前年度に引き続き、会員数の増強に積極的に取り組む。平成 23 年度から導入したシニア会員制度および賛助会員向けの特典（クーポン券）の効果を評価するとともに、イベントの収支に与える影響についても調査する。また、新たな分野の研究会を新設することで会員数の増強に努める。

3. 大会事業活動（定款第4条第1号関係）

- (1)「第16回 国際会議 ICEP 2012」（2012. 4. 17～20 東京ビッグサイト）については、IEEE-CPMT Japan Chapter と共催するとともに、IMAPS-ALC（Asia Liaison Committee）の IAAC（IMAPS All Asia Conference）を併催し、当学会の国際的プレゼンスを向上させ国際交流を推進する。
- (2)「第22回 秋季大会 マイクロエレクトロニクスシンポジウム」（2012. 9. 12～13 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス）を開催し、実装分野の企業・大学・公共研究機関の最新の研究・開発の成果を発表する場を提供する。活性化の施策として“もの作りセッション”を企画する。
- (3) 2012 ワークショップ（2012. 10. 18～19 修善寺）を開催し、研究開発者相互の情報交換の場を提供する。
- (4)「第27回 春季講演大会」（2013. 3. 13～15 東北大学）を開催し、実装分野の企業・大学・公共研究機関の最新技術開発を発表する場を提供するとともに、企業のものづくり技術の紹介と若手研究者・学生向けのチュートリアル講義を行い情報交換の場を提供する。特に今回は、東北地方の震災の復興に寄与することも考慮した企画を行う。

4. 展示事業活動（定款第4条第1号関係）

- (1) JPCAShow/マイクロエレクトロニクスショー/JISSO PROTEC の3展示会（2012. 6. 13～15 東京ビッグサイト）の活性化と集客増員に寄与することを目的に、マイクロエレクトロニクスショーは、「最先端実装技術シンポジウム」、「アカデミックプラザ」を含めた総合イベントとして運営する。また、出展テーマを「明日のエレクトロニクス産業を支える先端実装・製品」として安価で簡易に展示できるエクステック 2012 を新たに企画する。
- (2) 「セミコン・ジャパン 2012」（2012. 12. 5～7 幕張メッセ）に当学会の活動を紹介するブースを設け、オープンセミナーの開催を計画する。

5. 技術調査事業活動（定款第4条第2号関係）

- (1) 技術委員会の活動
今期から新設の部品内蔵技術委員会を含め13技術委員会を組織し、実装技術分野の技術動向を調査し、技術展望などについて学会誌に掲載する。また大会行事や最先端実装技術シンポジウムなどの支援を行う。
- (2) 研究会の活動
各技術委員会の傘下の22研究会と技術運営委員会直属のプリンタブルデバイス実装およびサーマルマネジメントに関する研究会を組織し、具体的な個々の実装関連テーマについて調査する。委員相互の情報交換や、必要に応じて試料作製から測定・評価を行い情報が共有できる場を提供する。研究会運営の自立性と横断テーマなどの新規分野の研究会創設を目指す。
- (3) 技術調査事業活動成果の普及
技術委員会および研究会の活動で得られた成果については、公開研究会や学会誌などで広く公開する。

6. 教育事業活動（定款第4条第3号関係）

- (1) 教育講座の実施
実装分野の研究開発者の育成に寄与するため「実装技術入門講座-初級コース」（2012. 6. 26～27）と「実装技術総合講座」（2012. 10. 29～30）を開催する。
- (2) 教育セミナーの実施
教育的見地から、注目されている実装技術をテーマとした「定例セミナー」を2回開催する。
- (3) 新しい教育講座の企画
関西若手研究者セミナーで発表されたテーマを再活用し、工場見学やシミュレーションなども含めた新たな教育講座を計画する。

7. 会誌発行事業活動（定款第4条第4号関係）

(1) エレクトロニクス実装学会誌の発行

例年通り、機関誌「エレクトロニクス実装学会誌」を7回発行する。研究開発活動の成果として研究論文、総合論文、速報論文、解説等を掲載し、実装技術に関する最新情報を会員に提供する。また、理事会や各事業委員会の活動状況についても広報する。

(2) 英文論文誌の発行

本学会の国際的な認知とプレゼンスの向上を図るため、引き続き、英文論文誌（Transactions of The Japan Institute of Electronics Packaging Vol.5）を発行する。また、これまで発行したものも含め電子閲覧ができるようにする。

(3) 韓国語翻訳転載

学会誌の研究論文、解説論文の一部を韓国語の雑誌に翻訳・転載し、技術の普及に貢献する。

(4) 電子ジャーナル化の試行

平成24年5月から学会誌の電子ジャーナル化に向けた試行を開始する。

8. 国際事業活動（定款第4条第5号関係）

(1) IMAPS(International Microelectronics and Packaging Society)との連携

米国 IMAPS の年會に設けられている Japanese Session の企画への協力など、IMAPS 対応委員会を通じて協調的な活動を継続する。また、本学会会員に Affiliate 会員として IMAPS に入会できる便宜を図る。アジアの IMAPS 系地域組織との交流では、Asia Liaison Committee に役員を派遣し、コンファレンスの企画に参加するなどの活動を推進する。

(2) IEEE CPMT Society との連携

IEEE CPMT Japan Chapter と国際会議 ICEP2012 を共催する。ICEP では、優秀な論文を表彰するなど、連携して実装技術の発展に努め、本学会会員に国際交流活動の場を提供するとともに、当学会の国際的なプレゼンスを高める機会とする。

9. 支部事業活動（定款第4条第6号関係）

(1) 関西支部の活動計画

若手研究会セミナー（2012年6月と12月開催予定）、技術講演会（2013年2月開催予定）および関西ワークショップ（2012.7.12～13）を企画し、支部会員の情報交流の場を提供する。今期の関西ワークショップは1泊2日型とし、従来のポスタ発表に加え、経験豊かな先輩を囲んでのナイトセッションを企画し、参加者の増員を図る。

(2) 九州支部の活動計画

九州支部の独自イベントとして、技術講演会と若手研究会セミナーを企画して支部会員の情報交流の場を提供するとともに、産業界・大学と連携する活動を行う。

(3) 東北・北海道地区の活動計画

第27回春季講演大会を東北大学で開催することを契機に東北・北海道地区の会員数増強に努め、地区の活動基盤を固めていく。

10. 表彰事業活動（定款第4条第6号関係）

(1) 表彰選考

学会活動の活性化と研究開発者のモチベーションの向上のため、例年通り、エレクトロニクス実装に関する学術の発展および学会活動に対して功績のあった方に学会賞、功績賞、技術賞、論文賞、技術功労賞を贈呈する。今期から技術功労賞の表彰対象を広げ、学会活動の活性化に役立つ。また各種イベント（春季講演大会、秋季大会 MES、国際会議 ICEP）の優秀発表者を表彰する。

理事・監事候補者

(五十音順・敬称略)

[新任理事]

1. 青山 雅之 株式会社デンソー
2. 王 建青 名古屋工業大学
3. 君塚 亮一 荏原ユーヅライト株式会社
4. 宍戸 正人 社団法人日本電子回路工業会
5. 杉本 泰博 中央大学
6. 伊達 仁昭 富士通クオリティ・ラボ株式会社
7. 西 眞一 コニカミノルタ IJ 株式会社
8. 原田 高志 日本電気株式会社
9. 山中 公博 中京大学
10. 山道 新太郎 ルネサスエレクトロニクス株式会社

[再任理事]

1. 安東 泰博 株式会社フジクラ
2. 稲垣 昇司 太陽ホールディングス株式会社
3. 小山 亮平 旭化成イーマテリアルズ株式会社
4. 野上 義生 東レエンジニアリング株式会社

[新任監事]

1. 澁谷 昇 拓殖大学

[退任理事]

1. 猪川 幸司 日本シイエムケイ株式会社
2. 井上 博文 日本電気株式会社
3. 越地 耕二 東京理科大学
4. 末松 憲治 東北大学
5. 染谷 隆夫 東京大学
6. 高橋 康夫 大阪大学
7. 田中 直敬 株式会社日立製作所
8. 中村 篤 ルネサスエレクトロニクス株式会社
9. 横内 貴志男 富士通インターコネクテクトテクノロジーズ株式会社
10. 若林 信一 財団法人長野県テクノ財団

[退任監事]

1. 佐藤 祐一 神奈川大学